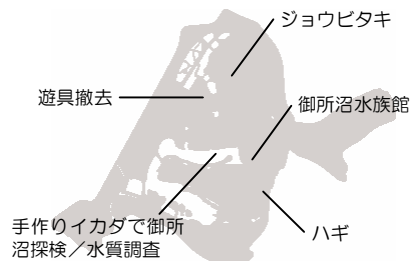


古河総合公園だより

発行日：2001年9月10日 編集：古河総合公園パークマスター 発行者：(財)古河市公園緑地振興協会
住所：〒306-8601古河市長谷町38-18 E-mail：sogokoenv@city.koga.ibaraki.jp



8月26日(月)から公開中 管理棟展示室

御所沼水族館

御所沼の生き物たちを、展示中!



▲モツゴ(クチボソ)、トウヨシノボリ、ドジョウ、スジエビ、クサガメなどが見られます



8月14日(火) 御所沼

御所沼水質調査の結果報告

魚や鳥の生息に、きれいな水はとても大切。御所沼では、井戸水の注入、沼の水を循環させているせせらぎによるバッキ、水草の除去などに取り組んでいます。

(管理棟前にて測定)

測定項目	測定値	基準値※
水素イオン濃度(PH)	7.16	6.5~8.5
浮遊物質(SS) (mg/l)	5.4	—
化学的酸素要求量(COD)(mg/l)	7.6	5.0以下
溶存酸素量(DO) (mg/l)	4.43	5.0以上
大腸菌群 (個/ml)	47	—
全窒素 (mg/l)	2.21	1.0以下
全リン (mg/l)	0.02	0.1以下

※生活環境の保全に関する環境基準(2)湖沼B類型を参照

担当/都市整備課、協力/思川浄化センター



9月中旬

遊具撤去のお知らせ

遊具広場



▲昭和53年、(社)古河ライオンズクラブより寄贈して頂きましたが、損傷が激しいため撤去いたします。

担当/都市整備課



☆市民探鳥レポート第4弾☆

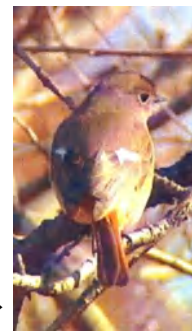
古河総合公園で見られる鳥 ジョウビタキ

ジョウビタキは冬鳥、中国北東部・シベリア南東部から飛来します。総合公園では、10月~3月頃に現れます。桃園や中山台あたりで、地面や木の枝の低いところをすばやく飛び交いながら、餌となる小さな虫を求めて、地面をついばむ姿を見かけます。

市街地にも時どき現れますから注意してみてください。



←オス



メス→

▲オスの頭は灰色、腹は橙、背は黒、大変美しく、一度見ると忘れられないでしょう。メスはウグイス色。

投稿/小松崎清さん(市内在住、日本野鳥の会会員)

◆古河総合公園 花ファイル NO.10◆

●ハギ●

[科名] マメ科、落葉樹

[樹高] 2m程

[花] 紫紅色、白色

[花期] 7月~9月

園内には、ヤマハギ(芋ころがし坂沿い)とミヤギノハギ(こぶし野周辺)の2種が植栽されている。ミヤギノハギの方が、幹が柔らかく、大きくしだれる。





8月18(土)、19(日) 管理棟・御所沼

手づくりイカダで御所沼探検

参加者約30名。イカダは展示室に展示中。力作です。

★参加者の声(アンケートから)★

○「イカダづくり・イカダで遊んだ」感想は？

- ・いろいろなふねにのりてたのしかった(小学生)
- ・はじめてイカダを作って感げきました(小学生)
- ・ごしょぬまにおこちたのであんまりたのしくなかったです(小学生)
- ・さいしょはイカダにのっていただけ少し泳いでみました。すごく気持ちよかったです。(小学生)
- ・竹を切るとき、蚊に両足をボコボコにされたけど、イカダが浮いてよかった(高校生)
- ・とても充実した達成感のようなものがありました(大人)

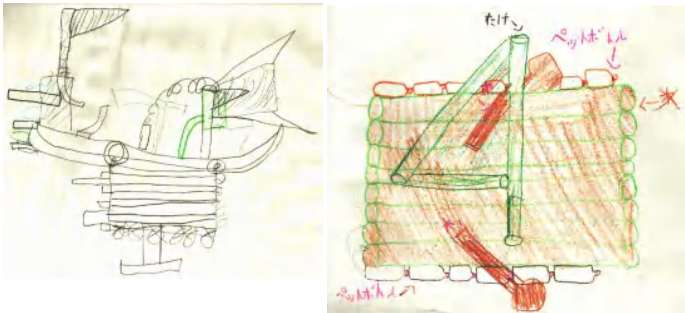
○「御所沼でどんなことをしてみたい」ですか？

- ・およぎたい(小学生)
- ・さかなをつかまえて、やいてたべたい(小学生)
- ・今度は、カヌーで競争したい(高校生)
- ・浅瀬をつくって水遊びができる場所をと思います(大人)
- ・水がちょっと汚いかな？水が動けばよいと…(大人)

共催/生涯学習課、講師/石神明治先生
協力/古河第二高等学校 JRC、社会体育課生沼課長



▲御所沼のお話「昔は、七夕の日に、御所沼に生えていたマコモで、七夕馬を作って沼に浮かべました。」
(古河歴史博物館鷺尾館長)



▲イカダづくり作戦会議、子供たちが描いた夢のイカダ



▲虚空蔵裏の竹林で、子供の背丈を物差しに竹の切り出し

▲ノコギリに挑戦！
イベントが終わる頃には、チビッコたちも少したくましく見えました



▲進水前の記念写真 翼号



▲安定感ばっちり、おふろーリング号



▲竿でこげ！ばた足で快走！ゴーイングメリー号



▲はしゃぎすぎて池にドボン！ひまわり号



▲投網で、御所沼の生き物調査。投網は石澤実さん(総和町)からお借りました。